

第 3 号

浮金小だより

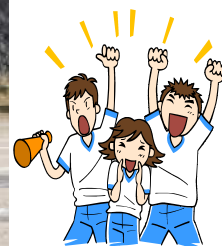


発行：令和元年5月24日（金）

文責：浮金小学校長 松崎 健一

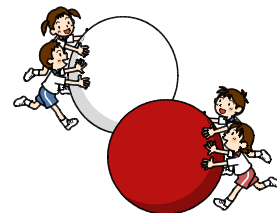
元気いっぱい明るさいっぱいの運動会でした。

青空の下、鯉のぼりが生き生きと泳ぐ中、運動会を実施しました。37名の全児童がそろって開催できたことが、何より嬉しく思います。子どもたちが決めたスローガン「最後まであきらめない！ 浮っ子だましいを見せつけろ！」のもと、多くの地域の皆様に元気いっぱい、明るさいっぱいの子どもたちの姿を見ていただきました。早朝からの応援ありがとうございました。

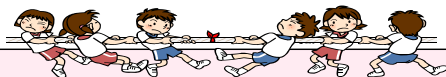


どの写真からも、夢中になって取り組む子どもたちの姿が見られます。絶叫に近い大きな声での応援、普段では見られない真剣勝負の顔つき、最後まであきらめず演技する粘り強さなど。そして、子どもたちは元気で明るい浮金小学校の運動会を見事に創ってくれました。

もちろん、創りあげたのは子どもたちだけではありません。運動会を開催するにあたり、会場準備や運営協力等いただいた関係諸団体の皆様、PTA役員の皆様、そして会場に足を運んでいただいた皆様のご協力あつてのことです。改めて感謝申し上げます。



校長室から



晴天で心地よい風が吹くという絶好のコンディションの中、全児童がそろって運動会を開催することができ正直ほっとしています。子どもたちの頑張りも素晴らしいですが、保護者の皆さんをはじめ地域の皆さんで創りあげた運動会だったと実感できたことが、何より嬉しく思います。ありがとうございました。

ところで、運動会でも見られましたが、低学年の子どもたちは、よく横を向いて走ってしまいます。前を向いて走った方が速く走ることができると思うのですが、自分の走りに集中できず、競って走る隣の相手が気になってしょうがないのです。ところが、高学年の子どもたちは違います。隣の相手を気にしつつも、自分の走りに集中し、しっかりと前を向いて走ることができます。まずは自分の走りをして結果は後からわかるという感じです。

また、ゴール後の様子も違います。低学年の子の中には、負けてしまっても悔しくて、1位になった子への嫉妬心が収まらず不機嫌になってしまう子がいます。ところが高学年ではこんな姿が見られました。負けた子が「1位になれてよかったね。」「やっぱり速いね。」と相手の勝利をたたえているのです。

さて、この違いは何でしょうか。

全てを説明できるわけではありませんが、その一つは、子どもに自己肯定感がバランスよく育っているかどうかに関係しているんだろうと思います。自己肯定感とは自分の価値を認めることによって自己を肯定する感情のことです。自己肯定感をもつことで、自分のことを大切な存在だと感じ、劣っているところも含めて自分を認めることができます。国際的な調査によると、他の先進国と比べて日本の子どもは自己肯定感がかなり低いとされています。ちなみに、自己肯定感が低い子どもの特徴は次のようなものです。

- 自信がなく劣等感が強い
- いつも何か不安を感じている

- 他人との関わりが苦手
- 怒られると極端に落ち込む
- 褒められてもあまり喜ばない
- いつも人の顔色をうかがっている
- あまり自分の意見を言わない
- 何事にもすぐにあきらめてしまう

それでは自己肯定感が高ければよいのかというと、そういうわけではありません。自己肯定感が高すぎる子どもの特徴は次のようなものです。

- 自己中心になりやすい
 - 自分を過大評価してしまう
 - 他者への思いやりが少ない
 - 反省をしない
 - 人に感謝することができない
- やはりバランスが大事であることがわかります。

私は、子どもたちの自己肯定感をバランスよく高めたいと考えてきました。ただ、それは放っておいて勝手に身に付くものではありません。周囲の大人（教職員も含む）が、大切に育てていくことによって、次第に自分自身を正しく肯定する感情として備わっていくものだと考えています。そこで、私が子どもを指導するときに心がけていることが4つあります。

- ①達成感を経験させる。
- ②結果よりも頑張った過程を見て褒める。
- ③頭ごなしに叱らない。
- ④子どもの話を最後まで聞く。

運動会後の反省会では、保護者の皆さんとたくさんお話をすることができました。あるお父さんは、「1位ではなかったけど、最後まで本気で頑張る娘の姿が見られて嬉しかった。」「走り終わったときに、膝に手をつけてゼイゼイしている姿を見て頑張ったんだなと思った。」と話してくれました。運動会での我が子の姿を見て思うところがたくさんあったかと思います。是非、お子さんとたくさん会話をされて、バランスのよい自己肯定感を育てていただければと思います。

浮金小学校大運動会

浮っ子みんな、
保護者の皆さん、
地域の皆さん、
浮金小教職員で、
元気いっぱいの
運動会を創ることが
できました。

万歳!!



この時点では、
白組が勝って
いましたね。